

---

## 事例17 段階的にIT化を支援

---

現在、大阪中河内地域中小企業支援センターで、主にITを中心に支援をおこなっている。

相談内容の傾向としては、ホームページ作成をはじめとするインターネット関連が中心となっているが、相談を進めるに従って、企業活動を支える社内体制や業務システムについても見直しが必要となるケースも多く、支援内容は多岐に渡っている。

**事例：異業種からインターネット事業に参入し、事業を拡大した。**

### 状況・課題

A氏は、趣味的な分野で主にインストラクターとして活動していた。

今回、ある趣味団体の全国組織公式ホームページの一部についての作成と、サイト管理維持、更新、および新規に募集するインターネット会員の管理業務を請け負うことになった。A氏には、この仕事を契機として、インターネット関連業務を事業の一方の柱としたい、との意向があった。

しかし、A氏は、従来、主としてITとは関連しない分野で活動していたため、パソコン操作についての知識は持っていたものの、インターネット、ホームページ作成に関しての専門的な知識、技術が不足していた。

また、会員ページについては、システムは通信事業者から提供されるものの、登録、管理業務についての業務フローを作成、実行する必要があった。同時に、A氏は新規事業を開始するにあたり、経営戦略策定のための知識も不足している、と感じており、これらの課題の解決策を求めて、中小企業支援センターに来所された。

### 対応・経過

このような状況を踏まえ、経営戦略策定のための知識を早急に習得する手段として、東大阪商工会議所で開催された「経営ITセミナー」に参加してもらい、経営戦略策定の基礎的な知識を習得していただいた。

ホームページ作成技術については、実際のサイト構築を通じて習得することとし、必要に応じて助言を行った。インターネット会員管理システムについては、組織の特性による業務処理が複雑である上、構築スケジュールが短期間となる制約があったため、大阪府中小企業支援センターの専門家派遣事業制度を利用していただくこととした。これにより、遅延なく会員募集のための業務フローが作成できた。

その後、一部を請け負う予定だった公式ホームページの全体構築をA氏の会社で請け負うこととなったが、それまでに蓄積した技術の応用で対処が可能であり、サイト全体の構築が予定通り完成した。

### 成果

インターネット会員管理システムは、問題なく稼働している。

公式ホームページは、順調にアクセス数を伸ばしており、趣味に関する各種情報の提供をおこなう他、関連する法律改正に対応する趣味団体会員の意見交換の場となるなど、社会的な役割も果たしている。

その後、公的団体や、新規に発足するNPO組織のホームページ作成・管理、等の受注も入り、事業は拡大傾向にある。